

平成27年度 事業報告

I. 理事会・評議員会の開催状況

平成27年度 定時評議員会

日時：平成27年5月23日（土） 11:00～12:00

場所：札幌アспенホテル 2階「アカシア」

議題：1) 決議事項

第1号議案 理事及び監事の選任（案）

出席者：出席評議員 5名（現在数8名）

居林 次雄、川崎 一彦、近藤 征夫、内野 貢、山田 明 各評議員
その他出席者

理事 村松宏一理事長、杉野秀雄専務理事

顧問 マグヌス・ローバック駐日スウェーデン大使の代理として、
アダム・ベイェ駐日スウェーデン大使館 文化・広報担当官が
オブザーバーとして出席

事務局 2名（稲垣勝一、和島美樹）

平成27年度 第1回理事会

日時：平成27年5月23日（土） 13:15～14:45

場所：札幌アспенホテル 2階「アカシア」

議題：第1号議案 平成26年度事業報告

第2号議案 平成26年度収支決算報告（案）

第3号議案 平成27年度事業計画（案）

第4号議案 平成27年度収支予算（案）

第5号議案 公益目的支出計画実施報告書（案）

第6号議案 理事長及び専務理事の選定（案）

第7号議案 顧問の委嘱について（案）

出席者：出席理事 8名（現在数9名）

村松 宏一理事長、杉野 秀雄専務理事、白髭 俊穂、杉本 拓、高橋 了、
土居 博昭、藤田 恒郎、新川 詔夫 各理事

その他出席者

評議員 居林 次雄、川崎 一彦、内野 貢 各評議員

顧問 宮司 正毅 顧問

マグヌス・ローバック駐日スウェーデン大使の代理として、アダム・
ベイェ駐日スウェーデン大使館 文化・広報担当官）がオブザーバー
として出席

事務局 2名（稲垣勝一、和島美樹）

みなし決議に関する平成27年度評議員会

日 時 : 平成27年6月24日(水)

内 容 : 定款第22条に基づき、評議員会の目的である下記の議案について、評議員に書面による同意を求めたところ、評議員全員の同意を得たので、議案については、評議員会の決議を得たものと看做した。

評議員現在数 8名 同意数 8名

1. 書面による同意を求めた内容

報告事項 平成26年度 事業報告

公益目的支出計画実施報告書

決議事項 平成26年度 収支決算(案)

1) 平成26年度 貸借対照表(案)

2) 平成26年度 正味財産増減計算書(案)

平成27年度 第2回理事会

日 時 : 平成27年11月27日(金) 11:00~12:15

場 所 : 北海道国際交流・協力総合センター 特別会議室

議 題 : 1) 第1号議案 平成27年度上期 事業報告

2) 第2号議案 平成27年度上期 収支報告

3) 第3号議案 その他

① 資産運用について

出席者 : 出席理事 8名(現在数9名)

村松 宏一、杉野 秀雄、杉本 拓、高橋 了、土居 博昭

藤田 恒郎、永井 勝己、白髭 俊穂

出席監事 1名(現在数 1名)

関川 峰希

事務局

稲垣 勝一、和島 美樹(2名)

II. 事業状況

1. 交流事業(継続事業1)

1) セミナー・講演会

(1) ワークショップ 「いま日本とスウェーデンが出来ることⅢ」

2018年・日瑞国交樹立150年の記念すべき年を見据えたシリーズ第3回。

「日本とスウェーデンの国交樹立150年を前に考えてみましょう」をテーマに、過去2回のワークショップで出た様々なアイデアをグループ化し、実現の可能性をより深く探る。

各方面で活躍する6名のグループリーダーを迎え、参加者には興味のある話題に自由に参加してもらい、活発な意見交換を行った。

スウェーデン大使館のアダム・バイエ文化報道担当官には、冒頭と終わりにコメントを

いただいたほか、参加者と同じテーブルで意見交換に参加して頂いた。また、北海道当別町との長年にわたる姉妹都市交流の歴史があるレクサンド市のラッセ・ニィゴード前議長にはビデオメッセージでご登壇頂き、記念すべき年を迎えるにあたっての、ご提案を頂くなど、臨場感のある演出もできた。スウェーデンからのゲストは少なかったものの、参加者からは概ね好評を頂き、実りあるワークショップとなった。

タイトル： 「いま日本とスウェーデンが出来ることⅢ

～日本とスウェーデンの国交樹立 150 年を前に考えてみましょう～

ゲスト： アダム・バイェ スウェーデン大使館文化報道担当官

進行役： 川崎 一彦 東海大学名誉教授

*グループリーダー 生越玲子氏 (ホイスコーレ札幌代表)

加藤肇子氏 (まちづくり観光デザインセンター代表)

木本明恵氏 (日本スウェーデン福祉研究所イストラクターリーダー)

高橋壽重氏 (北海道・しん・おもてなし研究会)

西浦和樹氏 (宮城学院女子大学教授)

横山 隆氏 (北海道大学准教授)

日時： 平成27年5月23日(土) 15:00～17:30

場所： 札幌アспенホテル 2階「アспенA」

参加者： 70名

参加費： 無料

(2) 交流会

ワークショップ終了後、さらなる意見交換、交流を目的に、アダム・バイェ氏、川崎一彦名誉教授、ワークショップのグループリーダーを務めていただいた方々を交え、交流会を催した。

日時： 平成27年5月23日(土) 18:00～20:00

場所： 札幌アспенホテル 2階「アспенB」

ゲスト： アダム・バイェ スウェーデン大使館文化報道担当官

参加者： 40名

参加費： 一般 3,000円 学生 1,000円

2) 催事・イベント

(1) 第32回夏至祭

当別・レクサンド都市交流協会、当別町と共催し、スウェーデン伝統の「夏至祭」を実施した。

スウェーデン交流センターでは、夏至祭協賛事業として、展示会「分岐点 - “ダーラナ・グラフィック “はゆくー” を開催し、展示会のために来日した作家3名とご家族、ミュージシャン2名を加えた8名の方も夏至祭に参加し、当別の夏至祭を楽しんで頂いた。

(展示会の内容については「展示会」の項を参照)

日時： 平成27年6月21日(日) 10:00～15:00

場 所 : スウェーデン交流センター中庭・スウェーデン公園・レクサンド記念公園
参加者 : 5,000名 (主催者発表)

(2) ザリガニパーティ

スウェーデンの夏の風物詩である、茹でザリガニを食べる会。

日 時 : 平成27年8月23日 (日) 12:00~15:00
場 所 : スウェーデン交流センター 中庭
参加者 : 47名
参加費 : 700円

(3) スールストロミング試食会

世界一くさい食品とされる、スウェーデンの珍味の試食会。

日 時 : 平成27年9月27日 (日) 12:00~15:00
場 所 : スウェーデン交流センター 中庭
参加者 : 33名
参加費 : 700円

(4) SCF クリスマスフェア

スウェーデンのクリスマス文化を紹介する一連の企画を行った。

①クリスマスマーケット

期 間 : 平成27年11月21日 (土) ~12月25日 (金)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

クリスマス用の飾り・キャンドルや小物等を特設のコーナーを設けて展示販売を行った。

②クリスマスクラフト講習会 - 「星形ランプ制作講習会」

スウェーデンのクリスマスで伝統的に飾られる星形のランプの講習会を行った。

日 時 : 平成27年12月6日 (日)
場 所 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房
参加者 : 6名
参加費 : 5,500円

③ロシア祭

スウェーデンで12月13日に行われる伝統的な冬のお祝いを再現した。

ロシア姫には、SCF スウェーデン語会話講座の卒業生である岡崎真衣さん、お付き役として地元の子どもたち17名の協力を得て、サンタルシアなどスウェーデン語の歌を披露した。

日 時 : 平成27年12月13日 (日) 13:00~17:00
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
参加者 : 135名

(5) スウェーデン・日本友好国会議員連盟 訪日調査団歓迎交流会

日本での視察等のため来日したスウェーデン国会議員団 (14名・随行1名) の当セン

ター視察に合わせて、議員団からの「当別町民と交流をしたい」とのリクエストに応え当別町民とのフィーカ形式での「交流会」を開催した。英語を話せる方々の協力を得て、各テーブルとも和やかに進行した。また、地元のパン屋の協力により提供した軽食も議員団に好評だった。

日 時 : 平成28年3月31日(木) 16:00~17:45
場 所 : スウェーデン交流センター 2階会議室
参加者 : 50名(ゲスト15名・一般参加者35名/定員30名)
参加費 : 無料

3) 展示会

(1) 「SCF ダーラHESTコレクション」展

スウェーデンの工芸品として人気の高い「ダーラHEST」のアンティークレプリカなど、スウェーデン交流センター所蔵の希少な作品を紹介した。

日 時 : 平成27年3月4日(金)~6月7日(日)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
入場者 : 1,245名

(2) 「ポスク」展

キリスト教の文化が生活に根付いているスウェーデンでの「ポスク(イースター)」の祝い方や、ポスクで飾る装飾品を紹介した。関連企画としてワークショップも開催した。

日 時 : 平成27年3月28日(土)~4月19日(日)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
入場者 : 223名

*関連イベント 「スウェーデンのポスクを楽しもう！」

スウェーデンでのポスクの祝い方や子どもたちの遊び、ポスクにかかせない「ポスクエッグ」作りを紹介した。

日 時 : 平成27年4月4日(土) 13:30~16:00
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
講 師 : SCF職員
参加者 : 13名

(3) 地域紹介シリーズ4 「ゴットランド」展

観光地として人気の高いスウェーデン最大の島・ゴットランド島の魅力をパネルで紹介した。

日 時 : 平成27年4月25日(土)~6月14日(日)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
入場者 : 895名

(4) 第32回夏至祭協賛展示「分岐点 - “ダーラ・グラフィック” はゆくー」

ダーラナ地方にゆかりのあるアーティストたちによるアート作品展。木版、エッチング

など、プリントの技術で制作された作品を紹介した。

現在活躍中のアーティスト17名の他、スウェーデンのアートの歴史に登場する巨匠達6人の作品も合わせて展示し、グラフィックアートにおける過去と現在のコントラストもお楽しみ頂いた。

①プレオープン

オープン前日には、招待客向けの「プレオープン」を実施し、来日した作家のシャスティン・ベリマンさん、ロッタ・リンドベックさん、ヨセフィン・ヴェデルさんから直接作品の説明を受け、その後、ティーパーティーで作家との交流を深めた。

また、作家と帯同したダーラナのミュージシャンのパウラ・テストドさん（バイオリン奏者）、ヨハン・テストドさん（ギター奏者）姉弟による伝統音楽コンサートも開催し、好評を得た。

日 時 : 平成27年6月20日（土）14:00～16:00

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

招待者 : 20名

②オープン

日 時 : 平成27年 6月21日（日）～9月30日（水）

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

主 催 : 一般財団法人スウェーデン交流センター

協 力 : レクサンド市、シリアン日本基金、レクサンド文化会館

後 援 : スウェーデン大使館、当別町、当別・レクサンド都市交流協会、
(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公財)札幌国際プラザ、
北海道スウェーデン協会、株式会社トーモク、
スウェーデンハウス株式会社（順不同）

入場者 : 6,846名

*関連イベント1 「ミッドサマー・コンサート」

スウェーデン伝統の音楽を、シリアン湖周辺の曲を中心に紹介した。

パウラ・テストド（バイオリン奏者）

ヨーアン・テストド（ギター奏者）

ルイース・ビュールンド（ニッケルハルパ奏者）※SCF 職員

日 時 : 平成27年6月19日（金）19:15～20:45

場 所 : 当別赤れんが6号「ふれあい倉庫」（当別町錦町294-4）

参加者 : 43名

参加費 : 前売2,500円／当日3,000円

主 催 : 一般財団法人スウェーデン交流センター

協 力 : レクサンド市、シリアン日本基金、レクサンド文化会館

後 援 : スウェーデン大使館、当別町、当別・レクサンド都市交流協会、
(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公財)札幌国際プラザ、
北海道スウェーデン協会、株式会社トーモク、

スウェーデンハウス株式会社 (順不同)

(5) 「マイ・ストーリー・アバウト・スウェーデン」展

実際にスウェーデンを訪れた人の体験談をインターネット・フェイスブックで募り、フェイスブック上で紹介するほか、センターホールにて写真やパネルで紹介した。ガイドブックに載っていない個人の「スウェーデン体験」は、スウェーデン紹介の新鮮な切り口として好評を得た。

日 時 : 平成27年10月3日(土)～11月15日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

(フェイスブック(インターネット上)でも紹介した。)

応募者 : 11名

入場者 : 648名

(6) 「SCF ダーラヘストコレクション」展

スウェーデンの工芸品として人気の高い「ダーラヘスト」のアンティークレプリカなど、スウェーデン交流センター所蔵の希少な作品を紹介した。特に、2015年度内に収蔵した新しい作品をご紹介し、好評を得た。(来年度へ引き続いて展示)

日 時 : 平成28年3月5日(土)～5月終了予定

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

入場者 : 202名(3月31日現在)

(7) 「ポスク」展

キリスト教の文化が生活に根付いているスウェーデンでの「ポスク(イースター)」の祝い方や、ポスクで飾る装飾品、ポスクの登場する文学作品等を紹介した。

日 時 : 平成28年3月23日(水)～4月11日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

入場者 : 101名(3月31日現在)

*関連イベント「スウェーデンのポスクを楽しもう！」の開催も計画していたが、スウェーデン国会議員団来訪の対応のため、中止とした。(「催事・イベント」参照)

4) 人的交流支援

(1) レクサンド高校・当別高校相互派遣交流に関わるサポート

レクサンド高校と北海道当別高校は、生徒が相互に行き来し交流をするプログラムを毎年実施している。また本年度より、当別町主催の「高校生の短期留学海外姉妹都市ホームステイ研修事業」が実施されることとなり、北海道当別高校より2名、町内に在住する他校の生徒2名、合計4名が参加を予定していた。この事業に参加する生徒および教職員・担当者を対象に、英会話や文化の違い等についての事前研修を提供、協力した。

※なお、後述の「FIKA」の一部日程もこの内容を目的として実施した。

※場所は各回ともスウェーデン交流センターのセンターホール。

※町の「派遣事業」そのものについては、2015年11月にフランス・パリで発生した同時多発テロ事件に関連してスウェーデン国内のテロ警戒レベルが引き上げられたことから中止（期限未定の延期）となり、生徒および随行者の派遣は行われなかった。

①事前研修

第1回 「ホームステイにおける英会話」

日程：平成27年7月25日（土）13:30～15:00

参加者：6名（高校生4名、当別高校教師1名、当別町役場担当者1名）

第2回 「学校生活における英会話」

日程：平成27年9月12日（土）13:30～15:00

参加者：3名（当別高校生2名、当別高校教師1名）

第3回 「体調や気持ちを表現する英会話」

日程：平成27年10月10日（土）13:30～15:00

参加者：3名（当別高校生2名、当別高校教師1名）

第4回 「プレゼンテーション練習」

日程：平成27年11月7日（土）15:00～16:30

参加者：5名（高校生3名、当別高校教師1名、当別町役場担当者1名）

(2) レクサンド高校生のインターンシップ受け入れ

レクサンド高校・木工科に在籍する生徒が職業実習のために来日し、サポートを行った。帯広市、音威子府村、当別町のプログラムの中で、当別分について受入し、実施した。

レクサンド高校生 リーナ・スポールズ（18才・女性）

ヴィクトル・ニイゴーズ（18才・男性）

日程：平成27年10月25日（日）～10月30日（金）

（北海道内滞在 10月5日～10月31日）

場所：①スウェーデン交流センター 木工房

（カール＝マグヌス・パーション氏、島田晶夫氏）

②当別町内木工房 「旅する木」（須田修司氏）

③当別町内 大成寺（日本文化施設見学）

④札幌市内 木工某「スタジオZERO」（北尾久美子氏）

(3) フェーンホークス高校（レットヴィーク）の職業実習支援

フェーンホークス高校から依頼のあった、アニマルケア分野の日本国内での職業実習を実現させるべく、動物園を中心に受入先探しを行った。北海道内だけでなく、南は沖縄まで広く声かけをしたが、様々な要因により実現には至らなかった。

(4) 「国際雪像コンクール」へ参加するスウェーデンチームに対する支援

過去に出場したスウェーデンのグループから「2016年2月の国際雪像コンクールに参加したい」と打診があったことを受け、参加に向けて各方面へ働きかけたが、昨年・一昨年参加していないことから、優先的な招待状をもらうことはできず、結果スウェーデンチ

ームは今年度（第43回）も参加を断念した。

来年度の第44回には機会を得られるよう、継続して働きかける。

(5) 日瑞交流に関わるその他のサポート

団体や企業からの問い合わせに対して、仲介・取次や資料提供などのサポートを都度実施した。

5) 講習会、体験教室等

(1) スウェーデン語会話講座

平成27年度はレベルの異なる2つの講座を実施した。春期講座は「レベルアップ」編として、秋期講座は初心者を対象とした「入門編」としてそれぞれ開講し、札幌市内でスウェーデン語を学べる貴重な機会を提供した。

①春期講座（レベルアップ編）

日 時 : 平成27年4月2日～6月11日 19:00～20:30（各回90分）

①4/2 ②4/9 ③4/16 ④4/23 ⑤4/30

⑥5/7 ⑦5/21 ⑧5/28 ⑨6/4 ⑩6/11 全10回

会 場 : 札幌市男女共同参画センター（札幌市北区）

講 師 : ルイース・ビュールンド（SCF職員）

参加者 : 6名

参加費 : 18,000円（教材費込）

②秋期講座（入門編）

日 時 : 平成27年9月28日～11月9日 19:00～20:30（各回90分）

会 場 : 札幌市男女共同参画センター（札幌市北区）

講 師 : ルイース・ビュールンド（SCF職員）

参加者 : 10名

参加費 : 15,000円（教材費込）

(2) F I K A（フィーカ） 『スウェーデンに親しみましょう！』

スウェーデンに関する話題を、スウェーデンのお茶の時間「フィーカ」のリラックスした雰囲気でお話し合う場を提供する。毎月最終土曜日の定例としているが、前述の「高校生の短期留学海外姉妹都市ホームステイ研修事業（当別町）」への協力として、特別な日程でも開催した。

日 時 : 平成27年 5月25日（月）

5月30日（土）

6月27日（土）

8月 1日（土）

8月29日（土）

9月26日（土）

10月31日(土)

11月28日(土) 計8回開催

各回 14:00~15:30

場所 : スウェーデン交流センター センターホール

参加者 : 延べ33名

参加費 : 500円

※担当した職員の退職により、以降は中止

6) アーティスト・イン・レジデンス

スウェーデンから工芸の分野で活躍するアーティストを招聘し、滞在制作を行ってもらったほか、セミナー、ワークショップ、プロジェクトや作品の展示会等を実施した。また、外部団体の要請により、講師および職員の派遣を行い、スウェーデンの工芸・アートの紹介に努める<招聘作家について>

招聘作家名 : カール=マグヌス・パーション氏 (エーランド島在住)

1948年生まれ(67歳)

スウェーデンの手工芸学校「カペラゴーデン」で40年間教鞭をとり、退職後の現在も精力的にデザイン活動を続ける。

滞在期間 : 平成27年9月30日~12月3日(約2ヶ月)

(1) 自身のデザインによる木工家具の制作活動

- ・3分割できるオーバルテーブル(プロトタイプ)
- ・3本脚の椅子A・B
- ・3本脚のスツールA・B

(2) ワークショップ

① 1DAY ワークショップ「木工で自分を見つけよう」

外に生えている木に触れ、素材と対話する中で生まれる小作品の制作等の1DAYワークショップを2回開催した。

日時 : 平成27年10月25日(日) 9:00~16:30(1回目)

11月 8日(日) 9:00~16:30(2回目)

会場 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房

参加者 : 各回10名参加

参加費 : 3,000円

② 2DAY ワークショップ「スツール(プロトタイプ)作り」

アイデアを形にするトレーニングとして、2日でスツールを制作する中級編を開催。

日時 : 平成27年11月21日(土) 9:00~16:30

22日(日) 9:00~16:30

会場 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房

参加者 : 11名

参加費 : 8,000円(昼食費込)

(3) アーティスト・トーク「木との出会い、木との暮らし」

パーション氏が、素材としての木との出会い、デザインの考え方、巨匠・マルムステンとのカペラゴードンでの出会いと、大切にしている思いを語った。

また、滞在中に制作した作品についての解説も行った。

日 時：平成27年11月29日（日）14：00～16：30

会 場：スウェーデン交流センター センターホール

参加者：12名

参加費：無料

(4) 外部団体でのセミナー、講演会

ハンドクラフト、木工制作等を志す団体からの要請に応じ、パーション氏を派遣し、講演会、セミナーを実施し、また、交流を積極的に進めた。

SCF 職員を同行させ、講演会、セミナーでは同行した SCF 職員が通訳した。

① 旭川工芸センター － 「木と人、人と人との語らい」

日 時：平成27年11月5日（木）18：30～21：00

会 場：旭川市工芸センター（旭川市）

参加者：30名参加

② 北の住まい設計社 － 「自然と共にある 暮らしのためのモノ作り」

日 時：平成27年11月6日（金）17：00～19：00

会 場：北の住まい設計社 カフェ&ベーカリー

（北海道上川郡東川町）

参加者：30名

*北の住まい設計者が企画し、参加者から参加費 800 円を徴収し、軽食・コーヒーを提供した。

③ 東海大学 － 「AiR セミナー@東海大学」

日 時：平成27年11月27日（金）

場 所：東海大学（札幌市）

参加者：15名（石塚耕一教授のゼミ生）

7) 後援・協賛事業、その他

(1) 後援・協賛事業

①第3回北方圏講座「スウェーデンの現在」共催

日 時：平成27年7月6日（月）

会 場：ホテルモントレエーデルホフ札幌（札幌市中央区）

講 師：森元誠二 在スウェーデン日本国大使館特命全権大使

主 催：(公社)北海道国際交流・協力総合センター、
在札幌スウェーデン名誉領事館、北海道スウェーデン協会、

(一財)スウェーデン交流センター

内 容 : 「スウェーデンの現在」をテーマに、駐スウェーデン大使就任から現在までの同国の印象と社会問題、人々の関心等についてご講演いただいた。北海道とスウェーデンとの交流にも熱い視線を注いでおられることなどにも触れ、国交樹立 150 年に向けてのアイデアのご披露もあった。他団体からの要請等により、スウェーデンの基本情報、生活文化、民族音楽の紹介を行う等の活動を行った。

②シェパンスキー先生の講演会協賛

「なぜ、いま子どもの遊びが必要なのか、～スウェーデンのアウトドア教育の第一人者シェパンスキー先生を招いて語る未来の教室」

日 時 : 平成 28 年 3 月 29 日 (火)
会 場 : <体験会>学校法人リズム学園 恵庭幼稚園・北清の森
<講演会>りんゆうホール (札幌市東区)
主 催 : シェパンスキー先生講演会実行委員会
内 容 : スウェーデンのアウトドア教育の第一人者であるアンデシュ・シェパンスキー氏を招き、子どもの確かな学力、豊かな人間性、健康と体力、生きる力を養う包括的な考え方を有するアウトドア教育について、その考え方や方法を学ぶ。

③「第 34 回 あそ雪の広場」協賛

日 時 : 平成 28 年 2 月 13 日 (土) ~ 14 日 (日)
会 場 : 阿蘇公園 (石狩郡当別町元町)
主 催 : 当別町観光協会
内 容 : 「当別町の雪まつり」として恒例の冬のイベント。巨大な雪のすべり台や、航空自衛隊当別分屯基地による雪上車の体験乗車、花火大会、飲食コーナー、ステージイベントなど。

(2) その他協賛活動

①スウェーデン民族音楽やスウェーデンの紹介活動

他団体からの要請に応じ、スウェーデン民族音楽、ニッケルハルパの紹介等の活動として、ルイス・ビュールンド職員を派遣した。

a. 「埼玉県フォークダンス連盟 創立 60 周年記念

フォークダンスフェスティバル」に協力

日 時 : 平成 27 年 5 月 16 日 (土)
会 場 : 川口総合文化センター・リリア (埼玉県川口市)
主 催 : 埼玉県フォークダンス連盟
内 容 : S C F 職員のルイス・ビュールンドが、ニッケルハルパを演奏し、ダンスの伴奏として民族音楽の披露を行った。

b. 「スウェーデン・ナショナルデー・セレブレーション 2015」に協力

日 時 : 平成27年6月6日(日)
会 場 : スウェーデン大使館(東京都港区六本木)
主 催 : スウェーデン大使館、スウェーデン商工会議所
内 容 : スウェーデン建国記念日を祝うイベントに対して職員を派遣。ルイス・ビューランドがニッケルハルパの演奏を披露した。

②職場体験学習の受入

当別町教育委員会の要請により、当別町立西当別中学校の職場体験研修を受け入れた。

日 時 : 平成27年11月12日(木)、13日(金)
会 場 : スウェーデン交流センター センターホール
主 催 : 当別町教育委員会
内 容 : 地元の中学2年生男子生徒2名を職場体験学習で受け入れた。スウェーデン交流センターの活動内容を知ってもらい、主に交流事業の職務内容の体験として、日瑞交流の新規企画立案・プレゼンテーションに挑戦してもらった。

2. 広報事業(継続事業2)

スウェーデン交流センターで行う様々な催し・イベントの情報や、スウェーデンの文化・社会の紹介等を広報誌「ビョルク」やパンフレット、ホームページ、フェイスブックで行った。

1) 広報誌「ビョルク」の発行

「ビョルク」126号	4月10日発行	2,500部
「ビョルク」127号	7月10日発行	2,500部
「ビョルク」128号	10月1日発行	2,500部
「ビョルク」129号	1月1日発行	2,500部

2) スウェーデン交流センターのホームページ・フェイスブックの充実を図る

- ①フェイスブックを利用しタイムリーな情報の掲載・イベントの告知を行った。
- ②ホームページを整備し、情報の公開・活動内容等を随時公開した。

3) マスメディア・取材対応

- ①地域情報誌「じゃらん」2015年4月号 ドーレ君が行く!
- ②地域情報誌「じゃらん」2015年10月号 カフェめぐり・体験メニュー特集
- ③情報誌(横浜)「ハマカラ」2015年12月号 ルシア祭特集ページ協力
- ④NHK北海道 地域情報コーナーへの情報提供(2015年12月)
- ⑤当別町情報パンフレット(雑誌形式)2016年3月発行 SCF紹介頁協力
- ⑥当別町道の駅紹介パンフレット 2016年3月発行 SCF紹介頁協力
- ⑦その他、新聞等でのイベント報告記事取材対応

※当初予定していたFM番組への出演は、番組が終了したことにより中止となった。

4) 資料の整備

図書コーナーを整備し、来館者への貸出や閲覧スペースの提供を行った。
また、新規に15冊の図書を購入し、コーナーの充実を図った。

3. 工房事業（継続事業3）

交流事業で実施している「アーティスト・イン・レジデンス」で来日している、カール＝マグヌス・パーション氏が木工房で創作活動を行ない、来館者に創作の様態を見学させた。

1) 制作体験教室

(1) 吹きガラス制作体験教室

宙吹きによるオリジナルのガラス作品制作体験。

日 時 : 毎月第2・4土曜日（原則／予約制）

場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房

講 師 : S C F ガラス工房スタッフ

参加費 : 2,000 円（送料は参加者負担にて別途）

参加者 : のべ24名

(2) 木工教室

家具や小物などの制作講習会。テーマは受講者と個別に相談して決定する。

日 時 : 毎月第2・4日曜日（原則／予約制）

場 所 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房

講 師 : 島田晶夫氏（デザインスタジオシマダ／スウェーデン木工マスター）

参加者 : のべ34名

2) ガラス作品展

ガラス工芸工房の職員による外部での作品展を実施した。

期 間 : 平成27年7月6日（月）～7月18日（土）

会 場 : 「手風琴」（札幌市北区あいの里）

出展作家 : 甲斐裕士、田澤綾乃（S C F 職員）

入場料 : 無料

4. 販売事業

1) ガラス工房、木工房の作品の販売

当工房で制作されたガラス作品、木工作品の展示販売を行った。昨年度より当別町の「ふるさと納税」の記念品のひとつに取り上げられているガラス作品が今年度は106個お使い頂

き、昨年度より365千円増となった。また、スポットでも日本認知症ケア学会の記念品に360,000円 NPO ふれ・スポ・当別で合計70万円位お買い上げ頂いたが、スウェーデンハウス竣工記念品の減や価格改定の影響により、予算は大幅未達となった。

2) 輸入雑貨の販売

スウェーデンの民芸品であるダーラヘスト、その他スウェーデン雑貨の輸入販売を行った。雑貨の一般販売については、ほぼ予算を達成している。また、スウェーデンハウス竣工記念品のヘストは、ガラス作品との振替で増加し、ほぼ予算は達成した。

平成27年度販売実績

内 容		前期実績	今期予算	今期実績	予算対比
ガラス 作品 売上	ガラス作品収入				
	関連売上	10,898,240	10,222,000	8,388,080	-1,833,920
	一般売上	923,106	930,000	944,305	14,305
	センター売上計	11,821,346	11,152,000	9,332,385	-1,819,615
	委託販売	216,079	178,000	661,204	483,204
	ガラス作品売上計	12,037,425	11,330,000	9,993,589	-1,336,411
ガラス作品売上 工房分 (継続事業)		9,028,069	8,497,500	7,495,192	-1,002,308
販売 事業 売上	ガラス作品売上 — 販売事業分	3,009,356	2,832,500	2,498,397	-334,103
	雑貨・その他収入				
	関連売上	13,849,500	10,280,000	10,498,100	218,100
	一般売上	1,790,036	1,747,000	1,744,146	-2,854
	小計	15,639,536	12,027,000	12,242,246	215,246
	その他雑貨	0	0	0	
	雑貨・その他収入 計	15,639,536	12,027,000	12,242,246	215,246
販売事業売上合計		18,648,892	14,859,500	14,740,643	-118,857

以上